

映像と舞踊研究

松本千代栄

舞踊学の命題の一つは、身体行動に表出されたものは何か—その現象性の特徴を明らかに把握することであろう。とりわけ、地域と歴史の中に淘汰された身体文化の形成の諸相と美の構築性をみること、人間文化の基層を探り、ひいては舞踊の組織原理 Code —楽式論としての知見—を求めものとして意義をもつと思われる。マルチメディアの情報化の現代に「映像」による研究の推進をはかることは、舞踊研究に新生局面をひらくことと予感し期待される。ここでは、自研究の結果に基づいて「映像による研究法」を細見し、討議、検討の資料としたいと考えた。

南アジアの舞踊劇の映像分析（国際交流基金招聘）は、“Dance and Music in South Asian Drama” 1983として出版され、1986年、オーストラリアの民族音楽学会誌 “Musicology Australia” Journal of The Musicological Society of Australia, Vol. IXにその書評が掲載された。

同書に所載の筆者の論考 Movement and Symbol-A Comparative Analysis of CHHAU Dance Styles —は、同書のハイライトの一つ（Reis Flora, Monash Univ.）と評価され、とりわけ試みた研究法に注目された。そこでこれらの評価を得た映像収録とその解析をとりあげ、研究の可能性を問う事例とした。

映像による全体構造と部分に亘る解析は：

1) 主題—構成 T-C Factor。演目の主題の展開と全体構造を概観するもの。縦軸に登場人物、横軸に演の時間を配し、直線の時間軸上に演と演者の全体関係を把握。

2) 身体—運動 B-M Factor。“素” isolate とみなされる基本的な最小単位の動きの特性の把握。時間軸上に「静止・力動」あるいは「流動」の弁別。空間上に、「曲直の姿勢」や Stance の弁別。また Motion Analyzer を用いて平面上に動きの力動形態質を把握。解析された Figure からは、動きの軌跡、習熟度、動きの感情価 Feeling Values を読みとることができる。（CHHAU-Purulia と Seraikella の比較では、戦いの発想を象徴する“力動と静止”，内燃する相を擁する“屈曲と流動”など対照的な表現質、また、神格、人格、動物の“性質や偉大さ”及び“模倣（写実）と抽象”の性格など）

3) 運動—変化—連続 M-V-S Factor。舞踊運動としての Sequence, Phrase の形成。その演の構造と主調を成立させている“反復や基本形”などの特性の把握。

4) 群—構成 G-C Factor。2人以上の多人数に

よって形成される群化の表現形態質を把握。Mahishasura badh (Purulia) では、2人の対面で行う Sequence は、演の主性格を強化する Mirror work や、演の終止形の群化に特色—芸能性をとらえることができる。

5) 作品—構成 W-C Factor。1) 及び 4) と関連し、演の全体の外郭（輪郭）を把握。例えば開始と終止、段落進行あるいは統一的な連続進行、などの形式形成の類別。

6) 動き（演目）の感情価 M-Fv Factor。所定の check list (1) (2) (3) を用いて、所与の感情語の選択傾向上に表現質＝鑑賞価を評定する。

7) 演目（作）—美的形成 W-Ap Factor。所定の check list (4) 及び自由記述の分析によって、演の全体の形式形成的特性の把握。表 1 によってとらえられた CHHAU の形成の特性は、二演目の比較上に、Purulia は主として左列の用語、Seraikella は右列の用語に傾性をもつ。始原の形態から洗練を求める社会文化の変遷の様相と美の特質を映し、二つの CHHAU は、宗教性と審美性、整正と歪み、単一動作と連続動作、同一反復と発展進行、単純と多様化など両極の指標をもって舞踊の Code を提出していると認められた。

表 1 W-Ap：構造・機能の志向性

T-C	1. 儀式的 3. 伝承主題 5. 自然・日常模倣 7. 演の共有	2. 審美的 4. 個人発想 6. 心象 8. 特定人の演
B-M	9. 上昇的 11. 直線的 13. 拡大的 15. 均衡	10. 下降的 12. 曲線的 14. 縮小的 16. 不均衡
M-V-S	17. 拍子的リズム 19. はやい 21. 単位反復 23. 同質	18. 間的リズム 20. ゆっくり 22. 句節累積 24. 質の変化
G-C	25. 対立 27. 主調パート 29. かたまり 31. 持続的 33. 回帰的反復	26. 連続 28. 並行 30. 線的 32. 変化的 34. 発展的進行
W-C	35. 出 37. 入 39. 役割分担 41. 個人のみせ場 43. 段落進行	36. 板付 38. 板付 40. 個人・群 42. 共合的 44. 連続進行
	45. 他 ()	46. 他 ()

(S-E 省略)

(Check List 4)

*1995年度秋季第40回舞踊学会
『舞踊学』第19号より転載